

箱根関所復元施設の再整備が始まります。

江戸時代の景観もあわせて再現された箱根関所復元施設は、平成13年度から順次整備が行われ、平成18年度に全体の復元整備が完了し、平成19年度から全面公開に至りました。その後、20年余りが経過する中で、ここ箱根関所が位置する芦ノ湖畔周辺の厳しい自然環境によって、想定を上回る速さで復元建造物の腐朽、劣化が進んでいます。

このため、お客様に健全な姿を維持しご覧いただくために、令和6年度から『令和の再整備』を実施することといたしました。

令和6年度の施工期間は、8月19日から令和7年3月までを予定しています。

対象となる施設は、足軽番所・御制札場・上番所下雪隠となります。通常、足軽番所内は見学順路となっておりますが、施工期間中はご覧いただくことができなくなります。

観覧者の皆さまには、大変ご迷惑をお掛けしますがご容赦くださるようお願いいたします。

なお、これら建物の建築は日本古来の伝統技法によって行うこととなります。

屋根葺き工法は羽葺といって、薄く割った9mmの杉板材を重ね合わせて竹釘を打ち込みます。

工事期間中には、普段見ることのない大工さんの作業風景を間近でご覧いただくことができます。

再整備工事を実施する施設は○で示しています。それ以外の施設は見学することができます。

